

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
信託期間	無期限（2012年1月23日設定）
運用方針	<p>ターゲット・イヤー[*]を想定し、運用の時間経過とともに資産配分を変更することにより、投資信託財産の中長期的な成長を図ることをめざして運用を行います。</p> <p>[*]ターゲット・イヤーとは、個人が想定するライフイベント（退職など）の時期を意味し、当ファンドにおける安定運用開始時期を指します。なお、原則として、ターゲット・イヤーの決算日の翌日を「安定運用開始時期」とします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ターゲット・イヤーに向けて、安定性資産の投資割合を高め、徐々に安定運用に移行します。 ターゲット・イヤーまでの残存期間が長いほど、値上がり益の獲得を重視した運用を行います。 ターゲット・イヤーに接近するにしたがって、収益性資産（株式等）への投資割合を徐々に減らし、安定性資産（債券等）の比率を高めることでファンド全体のリスクを徐々に減らしていきます。 市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、3カ月に1回基本投資割合へ戻す調整を行います。 基本投資割合の変更を、家計や市場の構造変化等を考慮して、原則として年に1回行います。 投資対象とする資産クラスまたは投資スタイルについては、原則として5年に1回見直しを行います。 <p>当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。</p>
主要運用対象	<p>主としてETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を通じて、国内株式、先進国株式、新興国株式、オルタナティブ資産（ヘッジファンド、コモディティ、リート（不動産投資信託））及び日本債券及び世界の国債等、広範な各資産クラスへ分散投資します。</p> <p>なお、投資対象とするETF及び投資信託証券は別に定めるものとします。</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式や債券等の伝統的資産と値動きが異なる、オルタナティブ資産もポートフォリオに組入れることで、信託財産の安定的な収益獲得をめざします。 当ファンドが組入れる投資対象ファンドに対し、為替ヘッジを行う場合があります。なお、当初はヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETFに対し、為替ヘッジを行う方針です。ただし、資金動向、市場動向等により、委託会社が適切と判断した場合には為替ヘッジを行う投資対象ファンドを変更する場合があります。
組入制限	<p>投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。</p>
分配方針	<p>年1回決算時に分配方針に基づき分配を行います。繰越分を含めた経費控除後の利子・配当収入等と売買益等（評価益を含みます）から、収益分配方針に基づいて分配します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。</p>

運用報告書（全体版）

第5期

（決算日 2016年9月14日）

セレブライフ・ストーリー2025

追加型投信／内外／資産複合

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「セレブライフ・ストーリー2025」は、2016年9月14日に第5期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

〒106-6017 東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<http://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
(設定日) 2012年1月23日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 34
1期(2012年9月14日)	10,370	0	3.7	94.4	124
2期(2013年9月17日)	11,815	0	13.9	95.2	371
3期(2014年9月16日)	12,704	0	7.5	96.9	608
4期(2015年9月14日)	12,619	0	△ 0.7	97.2	818
5期(2016年9月14日)	12,663	0	0.3	98.4	966

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注2) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注3) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定していません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

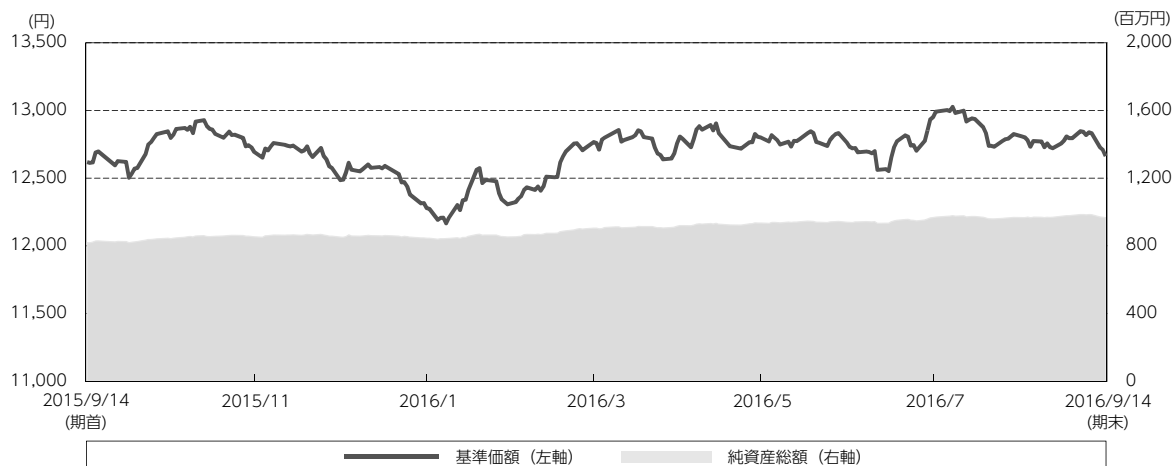
年月日	基準価額		投資信託証券 組入比率
		騰落率	
(期首) 2015年9月14日	円 12,619	% —	% 97.2
9月末	12,533	△ 0.7	96.0
10月末	12,827	1.6	95.5
11月末	12,697	0.6	98.0
12月末	12,591	△ 0.2	96.8
2016年1月末	12,413	△ 1.6	97.8
2月末	12,507	△ 0.9	95.5
3月末	12,845	1.8	98.0
4月末	12,833	1.7	96.0
5月末	12,847	1.8	96.8
6月末	12,729	0.9	95.7
7月末	12,938	2.5	97.0
8月末	12,808	1.5	95.3
(期末) 2016年9月14日	12,663	0.3	98.4

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定していません。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2015年9月15日から2016年9月14日まで）

○基準価額等の推移



期 首：12,619円

期 末：12,663円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 0.3%

（注1）当ファンドでは、ベンチマークを採用していません。また、適当な参考指数もないため当ファンドのみ表記しております。

（注2）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

世界的な株安を背景に安全資産への需要によって金が上昇したこと、日銀によるマイナス金利導入によって国内債券が上昇したことが主な上昇要因となりました。

下落要因

原油価格の下落や、中国景気減速懸念によって国内株式や先進国債券が下落したほか、円高が進行したことが主な下落要因となりました。

○投資環境

【株式】

（国内）

期首から11月までは、環太平洋経済連携協定（TPP）交渉の大筋合意や米利上げ観測の後退による米株高、欧州中央銀行（ECB）の追加緩和観測を背景に上昇しました。その後はECBの追加緩和策の内容や米国の利上げの決定が材料視され、年明け以降は中国の景気減速懸念に端を発した世界的な株安、原油安、日銀によるマイナス金利導入を背景に下落しました。3月以降は、概ねボックス圏での値動きとなりました。米国経済低迷への懸念が和らいだことや、ECBの追加金融緩和による投資家心理の改善をきっかけに、欧米の株高が波及しましたが、英国の欧州連合（EU）離脱への懸念が強まり株安が進行するなど一進一退の展開となりました。

（先進国）

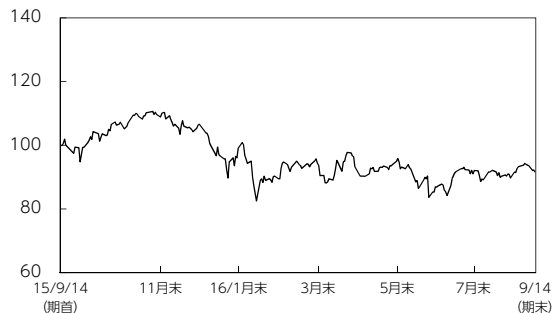
期首は、中国景気の減速を発端とした欧州経済への懸念、米国利上げへの先行き不透明感から世界的に下落基調となりました。その後は米国の雇用統計を受けた利上げ観測によって乱高下もありましたが、概ね横ばいで推移しました。12月から年始にかけては、米国の主要な経済指標が市場予想を下回ったこと、原油安、中国経済の減速懸念が材料視され、下落しました。2月に入ると、原油価格の下げ止まり感、米国経済指標の持ち直し、中国による追加の金融緩和措置発表で世界的に投資心理が改善したことを背景に、上昇に転じました。以降は一時、英国のEU離脱が決定的となったことを受け、ボラティリティが高まる局面もみられたものの、その後は持ち直し、期末を迎えました。

（新興国）

期首は、米国の利上げ観測を巡る思惑、ブラジルの信用格付けが引き下げられたこと、中国景気の減速懸念などから大幅に下落しました。10月には米国の早期利上げ観測の後退、中国政府による景気刺激策と追加金融緩和によって中国株が大幅反発し、リスク回避のムードが和らいだことで大幅に反発しました。11月から1月にかけては、原油安や中国人民銀行による追加金融緩和見送りを背景に大きく下落しました。その後は原油価格の反発によって産油国を中心に上昇に転じ、ブラジルの政権交代観測の高まりも下支えとなり、堅調な推移で期末を迎えました。

＜組入投資信託証券の推移：株式＞

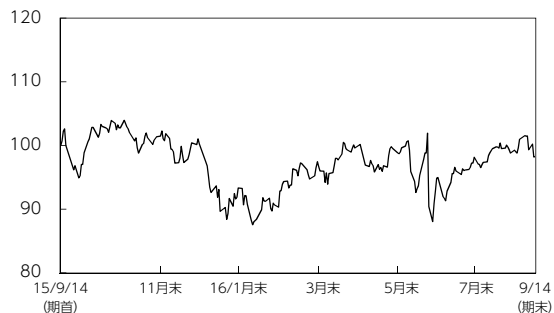
上場インデックスファンドTOPIX



シュワブU.S.ラージキャップETF



バンガード・FTSE・ヨーロッパETF



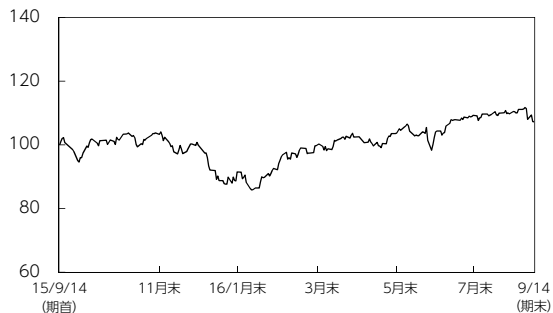
iシェアーズ MSCI パシフィック
(除く日本) ETF



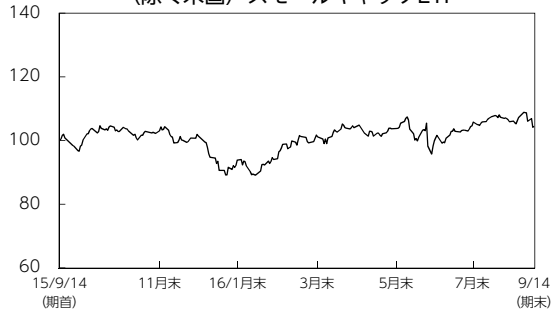
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF



バンガード・スモールキャップETF



バンガード・FTSE・オールワールド
(除く米国) スモールキャップETF



出所：Bloomberg のデータを基に S B I アセットマネジメントが作成

(注1) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。

(注2) シュワブ U.S. ラージキャップ ETF、バンガード・FTSE・ヨーロッパ ETF、i シェアーズ MSCI パシフィック (除く日本) ETF は 2016 年 3 月より組入れております。

【債券】

（国内）

期の前半は欧米の金利上昇が波及し、利回りが上昇する場面もあったものの、小幅な動きにとどまりました。しかし、原油価格の急落や日銀によるマイナス金利導入によって利回りは急低下し、過去最低を更新しました。一時米連邦公開市場委員会（FOMC）や日銀の政策決定会合前にポジション調整によって、利回りが高まる場面もあったものの、下落基調が続きました。

2016年7月には、内外株式の上昇によって投資家心理が改善したことや、日銀がマイナス金利幅を拡大するとの思惑から新発10年国債利回りは $\Delta 0.30\%$ まで低下（価格は上昇）し、過去最低の水準となりました。8月以降は、日銀がマイナス金利幅を据え置いたことで利回りは上昇しました。

（先進国）

年末まではほぼ横ばいで推移しました。一時米雇用統計をはじめとした経済指標が市場予想を下回り、早期の米利上げ観測が後退したことから利回りは低下しました。また、原油価格の下落を受けてインフレ見通しが低下したことで債券利回りに低下圧力がかかりました。

期末にかけては利回りが上昇（価格は下落）しました。年明け以降、原油価格の下落によるリスク回避の米国債買いが強まり、利回りが低下する局面もあったものの、原油価格が落ち着きを取り戻すと、米雇用統計が市場予想を大きく上回ったことも相まって安全資産とされる債券の需要が後退しました。

（新興国）

期首から年末にかけてはほぼ横ばいで推移しました。米国の早期利上げ観測の後退を背景に、新興国債券を買い戻す動きが優勢となり、利回りが低下（価格は上昇）する局面もあったものの小幅にとどまりました。年明け以降期末にかけては、利回りが低下基調となりました。原油安を背景に産油国を中心に債券が売られる局面もみられたものの、その後は原油価格の持ち直しや中国の固定資本形成の底打ちが確認され、米国の利上げ見送りが続いたことなどからリスク選好の動きとなりました。

<組入投資信託証券の推移：債券>

MUAM日本債券インデックスファンド
(適格機関投資家限定)



MUAM外国債券インデックスファンド
(適格機関投資家限定)



バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF



出所：Bloomberg のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成

(注1) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。

(注2) バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF は 2016 年 3 月より組入れております。

【オルタナティブ】

（原油）

期首から年明け2月にかけて大きく下落しました。経済協力開発機構（OECD）が世界経済成長見通しを下方修正したことや中国経済の減速懸念、石油輸出国機構（OPEC）の調査でOECD加盟国の原油在庫が高水準であったことなどが悪材料視されました。その後サウジアラビアが原油相場の変動抑制で他の産油国と協力する意向を示したこと等が材料視され、上昇に転じました。7月に入ると英国のEU離脱への懸念や原油在庫量の高止まりを背景に再び下落しました。

（金）

金は期を通じて緩やかな上昇となりました。期首は、米国利上げの先送り観測によって上昇しましたが、10月のFOMC声明文において次回会合で利上げを検討すると明記されたことを受け、下落基調となりました。

年明け以降は中国の景気減速懸念に端を発した世界的な株安、サウジアラビアとイランの断交などを要因に金需要が高まり、価格は上昇基調となりました。その後FOMC議事要旨が利上げに積極的な姿勢を示唆したことから下落する場面もありましたが、英国のEU離脱をきっかけに金の安全資産需要が強まり、再び上昇して期末を迎えました。

（リート）

リートは期を通じて緩やかに上昇しました。米雇用統計の強い結果を受けて米長期金利が上昇し、リーートの資金調達コストも上昇するとの懸念はあったものの、欧米の長期金利が一段と低下したことや米住宅経済指標が市場予想を大きく上回ったことが支えとなりました。2016年7月には英国のEU離脱決定を背景に低金利となったことから、リートは底堅く推移したものの、良好な米経済指標の結果を受けて早期利上げ観測が浮上し、米国債の利回りの上昇とともに期末にかけて下落基調となりました。

＜組入投資信託証券の推移：オルタナティブ＞

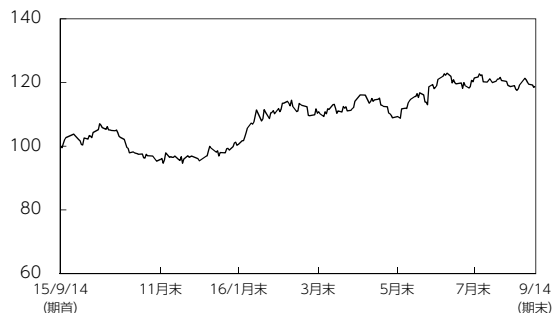
IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF



iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト



iシェアーズ ゴールド・トラスト



シュワブU.S.リートETF

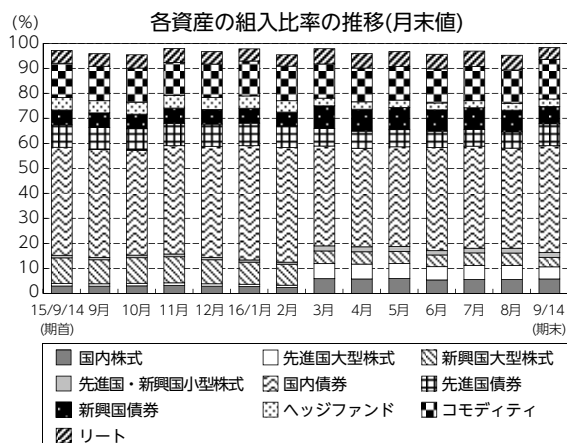


出所：Bloomberg のデータを基に SBI アセットマネジメントが作成
 (注1) 期首を 100 として指数化 (分配込み) したものです。
 (注2) シュワブ U.S. リートETF は 2016 年 3 月より組入れております。

【為替】

ドル/円は期首120円前半から始まったあと、期を通じて円高基調となりました。年末にかけては、各国の金融政策の動向や金利差を背景に120円を挟んだボックス圏の値動きとなりました。年始には原油安や世界的な株安を背景に、投資家のリスク回避姿勢が強まると「低リスク通貨」とされる円が買われる動きが優勢となったほか、米国経済の減速懸念が高まり、112円台まで円高・ドル安が大きく進みました。その後も、米連邦準備制度理事会 (FRB) による緩和的な金融政策が長期化するとの観測、主要産油国による増産凍結の見送り、英国のEU離脱を背景とする欧州経済の先行き不透明感、米GDPが市場予想を下回ったことを背景に円高が進み、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、国内及び海外のETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を行い、投資比率の合計は、95%以上の高位を保ちました。また、ヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETFに対し、為替ヘッジを行いました。

(注) 各資産の詳細につきましては、18ページ以降の「ご参考」組入投資信託証券の概要をご覧ください。

なお、2016年3月より以下の資産クラスについて、信託約款の規定に基づく5年に1度の投資対象資産または投資スタイルの変更をいたしました。

(1) 先進国大型株式

<変更後>

- ・シュワブU. S. ラージキャップETF
- ・バンガード・FTSE・ヨーロッパETF
- ・iシェアーズ MSCI パシフィック（除く日本）ETF

<変更前>

- ・iシェアーズ MSCI コクサイ ETF

(2) 新興国債券

<変更後>

- ・バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF

<変更前>

- ・iシェアーズJ.P. モルガン・米ドル建てエマージング・マーケット債券ETF

(3) REIT

<変更後>

- ・シュワブU. S. リートETF

<変更前>

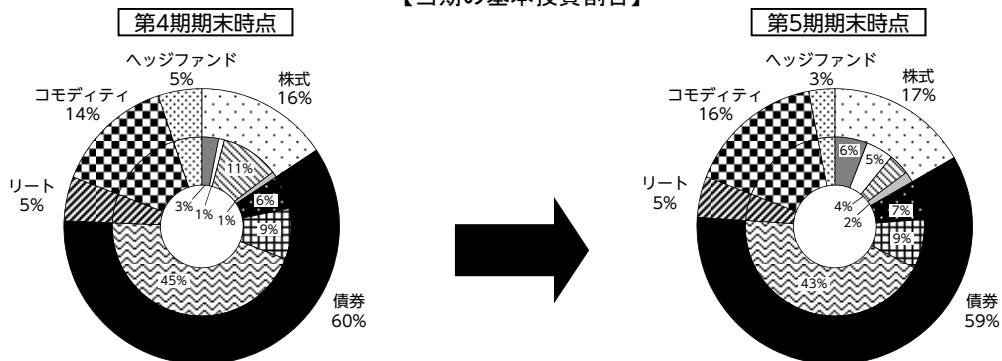
- ・バンガード・REIT ETF

為替ヘッジの状況				
年 月 日	①外貨建資産	②為替ヘッジ	通貨エクスポージャー (①-②)	通貨
(期首)2015年 9月14日	42.1%	18.8%	23.3%	米ドル
9月末	41.1%	18.7%	22.4%	米ドル
10月末	41.8%	18.2%	23.6%	米ドル
11月末	42.5%	18.4%	24.1%	米ドル
12月末	40.5%	18.3%	22.2%	米ドル
2016年 1月末	40.3%	18.6%	21.7%	米ドル
2月末	38.5%	17.1%	21.4%	米ドル
3月末	45.0%	17.0%	28.0%	米ドル
4月末	43.9%	16.3%	27.6%	米ドル
5月末	44.1%	16.7%	27.4%	米ドル
6月末	42.5%	15.9%	26.6%	米ドル
7月末	43.8%	16.8%	27.0%	米ドル
8月末	43.1%	16.5%	26.6%	米ドル
(期末)2016年 9月14日	41.1%	19.0%	22.1%	米ドル

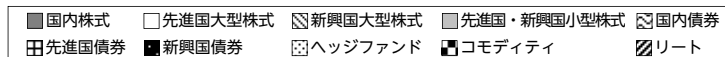
(注1) 純資産総額に対する比率です(為替ヘッジ比率は純資産総額に対する予約外貨評価額の比率です。)

(注2) 通貨エクスポージャーとは、外貨建資産のうち、為替変動のリスクを受ける割合のことを指します。

【当期の基本投資割合】



※年1回の基本投資割合の見直しを2016年9月に行いました。



【当期末の組入投資信託証券の状況】

投資対象		投資信託証券の名称	通貨	当期の騰落率	組入比率	
株	国内	上場インデックスファンドTOPIX	円	-8.5%	5.8%	
		先進国	大型	シュワブU. S. ラージキャップETF	米ドル	8.2%
	新興国	大型	バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	米ドル	-5.6%	1.0%
		大型	iシェアーズ MSCI パシフィック (除く日本) ETF	米ドル	6.3%	0.2%
	先進国	小型	バンガード・FTSE・エマージング・マーケットETF	米ドル	7.0%	3.8%
		小型	バンガード・スモールキャップETF	米ドル	5.1%	1.0%
新興国	小型	バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF	米ドル	4.5%	1.0%	
	国内	MUAM 日本債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	円	4.7%	42.7%	
債	先進国	MUAM 外国債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	円	-11.7%	8.8%	
	新興国	バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF	米ドル	6.7%	6.9%	
オルタナティブ	ヘッジファンド	IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF	米ドル	0.4%	3.0%	
	コモディティ	iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・インデックス・トラスト	米ドル	-17.5%	3.0%	
		iシェアーズ ゴールド・トラスト	米ドル	18.8%	12.8%	
	リート	シュワブU. S. リートETF	米ドル	15.9%	4.7%	

(注1) 組入比率は純資産総額に対する比率です。

(注2) 騰落率は期首からの評価単価及び投資開始時からの評価単価の騰落率です。

(注3) バンガード・スモールキャップETFは先進国小型株式のみの組入れです。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドにはベンチマークはありません。また、適当な参考指数もないことから、ベンチマーク、参考指数を特定しておりません。

○分配金

当期は基準価額水準等を勘案し、収益分配は見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては今後の運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第5期
	2015年9月15日～ 2016年9月14日
当期分配金 (対基準価額比率)	— —%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,663

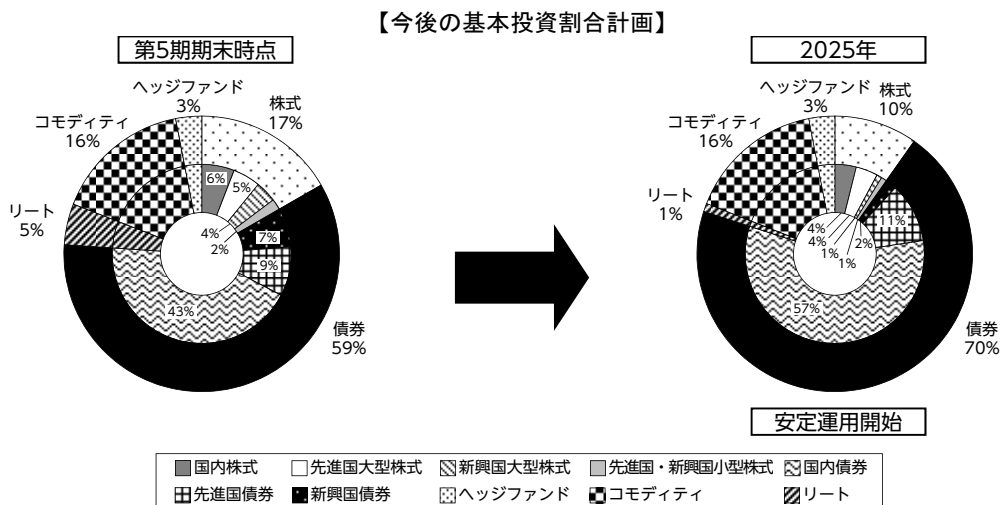
(注1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

ETF（上場投資信託）及び投資信託証券への投資を通じて、株式（国内、先進国大型株、新興国大型株）、債券（国内、先進国、新興国）、オルタナティブ資産（ヘッジファンド、コモディティ、リート）の資産に分散投資を行います。

株式や債券等の伝統的資産と値動きが異なるオルタナティブ資産もポートフォリオに組入れることで、信託財産の安定的な収益獲得を目指します。また、引き続き、ヘッジファンド及びコモディティを投資対象としているETFに対し、為替ヘッジを行います。なお、家計や市場の構造変化等を考慮し、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け年1回基本投資割合の変更を行います。



(注) 資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができないことがあります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年9月15日～2016年9月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社)	60 (27) (27) (5)	0.475 (0.216) (0.216) (0.043)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料 (投資信託証券)	7 (7)	0.056 (0.056)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用) (監査費用) (その他)	7 (3) (3) (0)	0.051 (0.027) (0.024) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	74	0.583	
期中の平均基準価額は、12,714円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2015年9月15日～2016年9月14日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付		
		口数	金額	口数	金額	
国内	MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	26,425,324	33,471	9,806,789	12,943	
	MUAM 日本債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	68,644,825	84,443	34,390,867	42,829	
	上場インデックスファンドTOPIX	27,400	37,946	1,500	2,389	
外国	アメリカ	VANGUARD SMALL-CAP ETF	506	55	41	4
		ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPAN ETF	656	25	92	3
		VANGUARD REIT ETF	316	24	4,977	402
		ISHARES GOLD TRUST	29,612	354	3,315	39
		VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	4,788	156	15,542	538
		VANGUARD FTSE EUROPE ETF	2,118	101	222	11
		ISHARES S&P GSCI COMMODITY INDEXED TRUST	16,653	235	8,302	118
		ISHARES MSCI KOKUSAI ETF	205	10	1,536	78
		ISHARES JP MORGAN EM BOND FD	458	49	4,209	461
		IQ HEDGE MULTI-STRAT TRACKER	2,814	81	4,798	137
		SCHWAB US REIT ETF	12,784	515	2,095	92
		VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP	616	57	48	4
		SCHWAB US LARGE-CAP ETF	7,881	381	1,071	55
		VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BON	10,045	770	1,930	157

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

○利害関係人との取引状況等

(2015年9月15日～2016年9月14日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2016年9月14日現在)

国内投資信託証券

銘柄名	当 期 末		
	口 数	評 価 額	比 率
MUAM 外国債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	69,428,172	84,750	8.8
MUAM 日本債券インデックスファンド (適格機関投資家限定)	331,936,306	412,995	42.7
上場インデックスファンドTOPIX	42,500	56,185	5.8
合 計	401,406,978	553,931	57.3

(注1) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注2) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

外国投資信託証券

銘柄名	口 数	当 期 末		比 率
		評 価 額		
		外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
VANGUARD SMALL-CAP ETF	766	91	9,396	1.0
ISHARES MSCI PACIFIC EX JAPAN ETF	564	22	2,311	0.2
ISHARES GOLD TRUST	94,652	1,202	123,609	12.8
VANGUARD FTSE EMERGING MARKE	9,776	355	36,531	3.8
VANGUARD FTSE EUROPE ETF	1,896	91	9,368	1.0
ISHARES S&P GSCI COMMODITY INDEXED TRUST	19,914	283	29,201	3.0
IQ HEDGE MULTI-STRAT TRACKER	9,659	281	28,932	3.0
SCHWAB US REIT ETF	10,689	446	45,867	4.7
VANGUARD FTSE ALL WORLD EX-US SMALL-CAP	942	90	9,312	1.0
SCHWAB US LARGE-CAP ETF	6,810	345	35,545	3.7
VANGUARD EMERGING MARKETS GOVERNMENT BON	8,115	652	67,099	6.9
合 計	163,783	3,862	397,176	41.1

(注1) 邦貨換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年9月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	951,108	97.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	24,743	2.5
投 資 信 託 財 産 総 額	975,851	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (398,056千円) の投資信託財産総額 (975,851千円) に対する比率は40.8%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月14日における邦貨換算レートは、1ドル=102.83円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2016年9月14日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,159,243,444円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	24,249,367
投資信託受益証券(評価額)	951,108,000
未 収 入 金	183,391,560
未 収 配 当 金	494,517
(B)負 債	192,393,490
未 払 金	183,843,900
未 払 解 約 金	6,184,774
未 払 信 託 報 酬	2,256,751
未 払 利 息	65
そ の 他 未 払 費 用	108,000
(C)純 資 産 総 額(A - B)	966,849,954
元 本	763,521,222
次 期 繰 越 損 益 金	203,328,732
(D)受 益 権 総 口 数	763,521,222口
1万口当たり基準価額(C / D)	12,663円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>
(貸借対照表関係)

期首元本額	648,957,803円
期中追加設定元本額	183,543,672円
期中一部解約元本額	68,980,253円

○損益の状況 (2015年9月15日～2016年9月14日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	8,012,066円
受 取 配 当 金	7,859,971
受 取 利 息	163,626
支 払 利 息	△ 11,531
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,380,022
売 買 益	77,778,415
売 買 損	△ 79,158,437
(C)信 託 報 酬 等	△ 4,742,441
(D)当 期 損 益 金(A + B + C)	1,889,603
(E)前 期 繰 越 損 益 金	18,500,922
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	182,938,207
(配 当 等 相 当 額)	(67,492,515)
(売 買 損 益 相 当 額)	(115,445,692)
(G)計 (D + E + F)	203,328,732
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金(G + H)	203,328,732
追 加 信 託 差 損 益 金	182,938,207
(配 当 等 相 当 額)	(67,492,515)
(売 買 損 益 相 当 額)	(115,445,692)
分 配 準 備 積 立 金	39,826,486
繰 越 損 益 金	△ 19,435,961

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(3,269,625円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(163,502,246円)および分配準備積立金(36,556,861円)より分配対象収益は203,328,732円(10,000口当たり2,663円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉 組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
上場インデックスファンドTOPIX	国内株式	TOPIX(東証株価指数)	0.088%	日興アセット マネジメント株式会社

組入上位10銘柄	比率
トヨタ自動車	3.73%
三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.11%
日本電信電話	1.90%
ソフトバンクグループ	1.62%
KDDI	1.56%
三井住友フィナンシャルグループ	1.33%
本田技研工業	1.30%
日本たばこ産業	1.27%
みずほフィナンシャルグループ	1.19%
ソニー	1.18%

出所：日興アセットマネジメント株式会社のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年7月29日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
シュワブU.S. ラージキャップETF	先進国大型株式	ダウジョーンズU.S. ラージ キャップ・トータル・ ストック・マーケット・インデックス	0.030%	Charles Schwab Investment Management, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Apple Inc.	2.66%
Microsoft Corporation	2.05%
Exxon Mobil Corporation	1.98%
Johnson & Johnson	1.70%
General Electric Company	1.47%
Amazon.com, Inc.	1.41%
Berkshire Hathaway Inc. Class B	1.38%
AT&T Inc.	1.35%
Facebook, Inc. Class A	1.35%
Verizon Communications Inc.	1.16%

組入上位業種	比率
情報技術	19.7%
金融	16.3%
ヘルスケア	14.3%
一般消費財・サービス	12.9%
資本財・サービス	10.2%
生活必需品	10.1%
エネルギー	7.0%
公益事業	3.6%
素材	3.0%
電気通信サービス	2.9%

出所：Charles Schwab Investment Management, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・ヨーロッパETF	先進国大型株式	FTSE欧州先進国オールキャップ・インデックス	0.120%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Nestle SA	2.8%
Royal Dutch Shell plc	2.6%
Novartis AG	2.3%
Roche Holding AG	2.3%
Unilever	1.6%
HSBC Holdings plc	1.5%
British American Tobacco plc	1.4%
BP plc	1.3%
Anheuser-Busch InBev SA/NV	1.2%
GlaxoSmithKline plc	1.2%

組入上位10カ国	比率
英国	31.5%
スイス	14.0%
フランス	13.7%
ドイツ	13.3%
スウェーデン	4.9%
オランダ	4.7%
スペイン	4.6%
イタリア	3.5%
デンマーク	3.1%
ベルギー	2.4%

出所：The Vanguard Group, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ MSCI パシフィック (除く日本) ETF	先進国大型株式	MSCI パシフィック・エクス・ジャパン・インデックス	0.490%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	6.60%
WESTPAC BANKING CORPORATION CORP	5.10%
AIA GROUP LTD	5.02%
AUSTRALIA AND NEW ZEALAND BANKING	3.66%
NATIONAL AUSTRALIA BANK LTD	3.49%
BHP BILLITON LTD	3.11%
CSL LTD	2.70%
WESFARMERS LTD	2.34%
CK HUTCHISON HOLDINGS LTD	2.03%
HONG KONG EXCHANGES AND CLEARING L	1.94%

組入上位業種	比率
金融	53.18%
資本財・サービス	9.95%
素材	8.31%
公益事業	5.75%
生活必需品	5.09%
一般消費財・サービス	4.88%
ヘルスケア	4.45%
電気通信サービス	4.26%
エネルギー	2.86%
情報技術	0.34%

出所：BlackRock, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・エマージング・マーケットズETF	新興国大型株式	FTSE エマージング・マーケット・オールキャップ(含む中国A株)インデックス	0.150%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	3.4%
Tencent Holdings Ltd.	3.4%
Naspers Ltd.	1.8%
China Mobile Ltd.	1.7%
China Construction Bank Corp.	1.7%
Industrial & Commercial Bank of China Ltd.	1.2%
Hon Hai Precision Industry Co. Ltd.	1.0%
Infosys Ltd.	0.9%
Bank of China Ltd.	0.9%
Housing Development Finance Corp. Ltd.	0.8%

組入上位10カ国・地域	比率
中国	27.8%
台湾	15.2%
インド	12.1%
ブラジル	8.3%
南アフリカ	8.3%
メキシコ	4.8%
ロシア	4.3%
マレーシア	4.2%
タイ	2.9%
インドネシア	2.8%

出所：The Vanguard Group, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・スモールキャップETF	先進国小型株式	CRSP USスモールキャップ・インデックス	0.080%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Ingredion Inc.	0.3%
Duke Realty Corp.	0.3%
Newfield Exploration Co.	0.3%
Arthur J Gallagher & Co.	0.3%
Atmos Energy Corp.	0.3%
Regency Centers Corp.	0.3%
Mid-America Apartment Communities Inc.	0.3%
Westar Energy Inc.	0.3%
AGL Resources Inc.	0.3%
Huntington Ingalls Industries Inc.	0.3%

組入上位業種	比率
金融	27.0%
資本財・サービス	18.9%
一般消費財・サービス	12.4%
テクノロジー	11.1%
ヘルスケア	9.3%
生活必需品	7.6%
公益事業	5.1%
オイル・ガス	4.6%
素材	3.6%
電気通信サービス	0.4%

出所：The Vanguard Group, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・FTSE・オールワールド (除く米国) スモールキャップETF	先進国・ 新興国小型株式	FTSEグローバル・スモールキャップ (除く米国) インデックス	0.170%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Waste Connections Inc.	0.6%
Dollarama Inc.	0.4%
Open Text Corp.	0.4%
Gildan Activewear Inc.	0.3%
Teck Resources Ltd.	0.3%
Kinross Gold Corp.	0.3%
Mediclinic International plc	0.3%
CCL Industries Inc.	0.3%
Keyera Corp.	0.3%
Onex Corp.	0.2%

組入上位10カ国・地域	比率
日本	15.7%
カナダ	14.8%
英国	11.8%
台湾	6.0%
韓国	4.7%
オーストラリア	4.3%
スウェーデン	3.8%
ドイツ	3.6%
中国	3.0%
スイス	2.9%

出所：The Vanguard Group, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 日本債券インデックス ファンド(適格機関投資家限定)	国内債券	NOMURA-BPI総合インデックス	0.1512%	三菱UFJ国際投信 株式会社

種別組入比率	比率
国債	81.4%
特殊債券(除く金融債)	7.4%
地方債	5.7%
金融債	0.8%
普通社債	4.3%

組入上位10銘柄	比率
第123回利付国債(5年)	1.2%
第113回利付国債(5年)	1.2%
第339回利付国債(10年)	1.1%
第340回利付国債(10年)	1.1%
第124回利付国債(5年)	1.0%
第117回利付国債(5年)	1.0%
第341回利付国債(10年)	0.9%
第355回利付国債(2年)	0.9%
第338回利付国債(10年)	0.9%
第127回利付国債(5年)	0.9%

出所：三菱UFJ国際投信株式会社のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年5月12日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
MUAM 外国債券インデックスファンド(適格機関投資家限定)	先進国債券	シティ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)	0.2052%	三菱UFJ国際投信株式会社

組入上位10カ国	比率
米国	42.1%
イタリア	9.9%
フランス	9.8%
英国	7.9%
ドイツ	7.5%
スペイン	5.5%
ベルギー	2.6%
オランダ	2.4%
カナダ	2.1%
オーストラリア	1.8%

組入上位10銘柄	比率
2.25 T-NOTE 251115	0.5%
0.625 T-NOTE 170831	0.4%
2.75 T-NOTE 231115	0.4%
2.375 T-NOTE 240815	0.4%
2.5 T-NOTE 240515	0.4%
2.25 T-NOTE 241115	0.4%
2 T-NOTE 250815	0.4%
2.125 T-NOTE 250515	0.4%
2 T-NOTE 250215	0.4%
4.25 O. A. T 231025	0.4%

出所：三菱UFJ国際投信株式会社のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年5月12日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
バンガード・米ドル建て新興国政府債券ETF	新興国債券	ブルームバーグ・バークレイズ米ドル建て新興市場政府債RIC基準インデックス	0.340%	The Vanguard Group, Inc.

組入上位10カ国	比率
中国	13.2%
メキシコ	8.8%
ブラジル	7.2%
インドネシア	6.4%
ロシア	6.4%
トルコ	5.8%
アラブ首長国連邦	4.7%
アルゼンチン	3.5%
コロンビア	3.1%
フィリピン	3.1%

組入上位10銘柄	比率
RUSSIA-EUROBOND	1.1%
ARGENTINA	0.7%
RUSSIA-EUROBOND	0.6%
PETROLEOS MEXICA 144A	0.5%
RUSSIA-EUROBOND	0.5%
HUNGARY	0.5%
UNITED MEXICAN	0.5%
REPUBLIC OF POLAND	0.5%
TURKEY REP OF	0.4%
MEXICO GOVERNMENT INTERNA	0.4%

出所：The Vanguard Group, Inc.のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2016年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
IQ ヘッジ マルチストラテジー トラッカーETF	ヘッジファンド	IQ ヘッジ マルチストラテジー インデックス	0.960%	IndexIQ Advisors LLC

組入上位10銘柄	比率
U.S. Short Term Treasury Bond Funds	24.2%
Investment Grade Corporate Bond Funds	23.9%
Money Market Fund	12.0%
Aggregate Bond Funds	10.3%
U.S. Large Cap Value Funds	9.3%
U.S. Small Cap Growth Funds	6.3%
Treasury Inflation-Protected Securities Bond Fund	4.5%
Floating Rate Funds	3.2%
Europe Equity Funds	3.1%
International Equity Core Funds	3.1%

出所：IndexIQ Advisors LLCのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年4月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ S&P GSCI コモディティ・ インデックス・トラスト	コモディティ	S&P GSCI トータル・リターン指数	0.750%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
TREASURY BILL	24.7%
TREASURY BILL	20.9%
TREASURY BILL	14.5%
TREASURY BILL	8.1%
TREASURY BILL	7.0%
TREASURY BILL	6.7%
TREASURY BILL	5.8%
USD CASH	5.4%
TREASURY BILL	4.3%
TREASURY BILL	2.7%

出所：BlackRock, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年6月30日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
iシェアーズ ゴールド・トラスト	コモディティ	LBMA金価格	0.250%	BlackRock, Inc.

出所：BlackRock, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年6月30日時点のデータです。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
シュワブU.S. リートETF	米国REIT	ダウジョーンズU.S. セレクト・REITインデックス	0.070%	Charles Schwab Investment Management, Inc.

組入上位10銘柄	比率
Simon Property Group, Inc.	10.13%
Public Storage	5.68%
Welltower, Inc.	4.10%
Prologis, Inc.	3.89%
Equity Residential	3.80%
AvalonBay Communities, Inc.	3.73%
Ventas, Inc.	3.72%
Boston Properties, Inc.	3.05%
Vornado Realty Trust	2.68%
General Growth Properties, Inc.	2.62%

出所：Charles Schwab Investment Management, Inc. のデータを基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2016年6月30日時点の比率です。

上記投資対象ファンドは、第5期期末時点のものです。将来の市場構造等の変化によっては、投資対象とする資産またはスタイルを見直す場合があります。